

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1 学則変更（収容定員変更）の内容

北海道科学大学短期大学部の廃止を前提とし、令和3年4月より自動車工学科の学生募集停止したことから、移行表のとおり大学の入学定員及び収容定員を変更する。

＜移行表＞

学部等の名称	令和2年度			令和3年度		
	変更前			変更後		
	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
自動車工学科	100	—	200	<u>0</u>	—	<u>100</u>

2 学則変更（収容定員変更）の必要性

北海道科学大学短期大学部は、昭和28年に北海道自動車短期大学として開学し、地域における高等教育の場として大きな役割を果たしてきたところである。しかし昨今の社会環境の変化や18歳人口の減少、若者の理科離れ、生徒の4年制大学志向の高まりなど短期大学を取り巻く諸状況は大きく変化してきた。このような状況を踏まえ、平成13年度には大学運営の健全化を目指すため学科の改組を行い自動車工業科（現在：自動車工学科）のみの一学科体制とし、その後も入学定員の減員や大学名称や学科名称の変更、第二部（夜間部）の廃止など機会あるごとに改善対策を図ってきたところである。

また、平成30年度には将来を見据えた適正な入学定員とするため150人から100人に改めたところであるが、変更後の入学者は75人という結果になった。このような状況から令和元年9月開催の理事会において短期大学部が将来的に安定した入学者確保の見通し及び財務状況が改善されないとの判断がなされ、短期大学部としての高等教育機関における整備技術者養成の社会的な使命と役割を果たしたと考え、自動車工学科の学生の募集停止し、北海道科学大学短期大学部を廃止することが決議された。

以上のことから、入学定員及び収容定員を変更する。

3 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

今般の収容定員の変更に伴う教育課程、教育方法及び履修指導の方法、教員組織の変更は計画していない。また、大学廃止をするまでの間、在学生への教育条件の維持には万全を尽くすこととする。